

SNMPc サイジングガイドライン

SNMPc を構成する上で参考にして頂きたい管理台数の推奨値を紹介しています。但し、これらの値は、ご利用環境、ポーリング頻度、ネットワークスピード、MIB 数、ハードウェアスペックなどの複合要因により差が生じるため、全ての環境において当てはまるとは限りません。

※本推奨構成に基づき、お客様の環境での検証を推奨します。

1 SNMPc ワークグループ版

システム推奨条件

- Xeon プロセッサー 3000 系以上
- RAM 2GB 以上
- ハードディスク容量 10 GB 以上
- Windows Server 2008 (SP3/R2), 32/64bit

2 SNMPc エンタープライズ版 (リモートポータを使用しない場合)

2-1 システム推奨条件

- Xeon プロセッサー 3000 系以上
- RAM 2GB 以上 (SNMPc8 は 4G 以上)
- ハードディスク容量 10 GB 以上
- Windows Server 2008 (SP3/R2), 32/64bit

2-2 必要な SNMPc サーバ台数(ライセンス数)

監視推奨値は下記の推奨条件により、算出されています。

- SNMPc1 台につき、監視可能な最大デバイス数: 4000 台
- SNMPc1 台につき、登録可能な最大トレンドレポート数: 1000 レポート
※1レポートにつき 4MIB を取得する場合
例: 1 レポートで 1 ポートの UtilizationMIB(ifInUtil, ifOutUtil, ifTotalUtil, ifErrorsPercent)取得
- トレンドレポートのポーリングインターバル: 10 分
- オブジェクトプロパティの設定値:
ポーリングインターバル 300 秒
ポーリングタイムアウト: 2 回
ポーリング再試行: 2 回

監視デバイス数 (ICMP, SNMP)	レポート取得 MIB 数 (最大レポート数)	総計監視 ポイント	SNMPc サーバ台数 (ライセンス数)
1 - 4000	1 - 4000 (1000)	1 - 8000	1
4001 - 8000	4001 - 8000 (2000)	8001 - 16000	2
8001 - 12000	8001 - 12000 (3000)	16001 - 24000	3
12001 - 16000	12001 - 16000 (4000)	24001 - 32000	4
16001 - 20000	16001 - 20000 (5000)	32001 - 40000	5

※ポイントの定義: 死活監視、MIB 取得等で実際に SNMPc がポーリングを行う対象数

※下記の様な場合、各項目の最大値での構成が必要となります。

例: 4,000 デバイス+12,000MIB →2 ライセンス(×): 12,000MIB のため、3 ライセンスが必要

20,000 デバイス+4,000MIB →3 ライセンス(×): 20,000 デバイスのため、5 ライセンスが必要

3 SNMPc エンタープライズ版 + リモートポーラ

3-1 システム推奨条件

エンタープライズサーバ(本体)

- Xeon プロセッサ 3000 系以上
- RAM 2GB 以上 (SNMPc8 は 4G 以上)
- ハードディスク容量 10 GB 以上
- Windows Server 2008 (SP3/R2), 32/64bit

リモートポーラサーバ

- PentiumIV3GHz 以上
- RAM 2GB 以上
- ハードディスク容量 10 GB 以上
- Windows Server 2008 (SP3/R2), 32/64bit

3-2 SNMPc サーバ 1 台につき必要なリモートポーラ台数

監視推奨値は下記の推奨条件により、算出されています。

- SNMPc1 台につき、監視可能な最大デバイス数: 4000 台+(2000 ポイント * リモートポーラ台数)
- SNMPc1 台につき、登録可能な最大トレンドレポート数: 1000 レポート
※1レポートにつき 4MIB を取得する場合
例: 1 レポートで 1 ポートの UtilizationMIB(ifInUtil, ifOutUtil, ifTotalUtil, ifErrorsPercent)取得
- リモートポーラ 1 台につき、監視可能な最大デバイス数: 2000 ポイント
- トレンドレポートのポーリングインターバル: 10 分
- オブジェクトプロパティの設定値:
ポーリングインターバル: 300 秒
ポーリングタイムアウト: 2 回
ポーリング再試行: 2 回

監視デバイス数 (ICMP, SNMP)	レポート取得 MIB 数 (最大レポート数 ^{※1})	総計監視 ポイント	必要なリモート ポーラ台数
1 - 4000	1 - 4000 (1000)	1 - 8000	0
4001 - 8000	1 - 4000 (1000)	8001 - 12000	2
8001 - 12000	1 - 4000 (1000)	12001 - 16000	4
12001 - 16000	1 - 4000 (1000)	16001 - 20000 ^{※2}	6

※ポイントの定義: 死活監視、MIB 取得等で実際に SNMPc がポーリングを行う対象数
※リモートポーラ接続最大台数(推奨): 6 台

※1 サーバ 1 台につき、登録最大レポート数は 1000 レポートまでを推奨します。

※2 総計監視ポイントが 20000 ポイントを超える場合はリモートポーラを使用しないで、SNMPc 本体を増設する必要があります。

以上